

内閣府だより



推進室立ち上げ

LETTER

「アジア青年の家」
構想についてURL ▶ <http://www8.cao.go.jp/okinawa/seinen.index.html>

内閣府沖縄担当部局では、「アジア青年の家」構想について、来年夏の実施に向け、準備を進めているところです。この構想は、去る6月に閣議決定された「イノベーション25」の提言を受けたものであり、アジア、沖縄、本土の若者を沖縄に集め、約1ヶ月間、共同で生活をしな

がら、沖縄の自然環境や大学院大学の研究活動等に触れてもらうことで、若者のイノベーションマインドを育成しようとするものです。沖縄の歴史や文化に触れてもらう機会も必ずあるため、人材育成のみならず、アジア諸国や日本各地に沖縄のファンが増えることも期待されています。

この構想を進めるにあたっての基本的な考え方については、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」を開催し、有識者の方々に議論していただきました。今般、その報告書として『「アジア青年の家」構想について』推進にあたっての基本的な考え方』を取りまとめたところです。ここでは、構想の柱として、共生の精神の育成を据えており、そのために、文化、慣習、宗教の異なる若者同士がグループを組み、日常生活からものづくりやスポーツなどの共同作業や活発な議論を行うことや、問題意識を共有し易い「持続可能な発展」をテーマとすること等が提案されています。また、当面は、中学生、高校生を

対象とし、アジア50人、沖縄50人、本土50人の計150人の規模とすることや、参加者とは別にチューター（大学生世代の世話役）を各グループに配置し、各グループがチューターのもとで自主的に活動する「若者の若者による若者のためのプログラム」とすることといった運営上の具体的な点についても触れられています。

今後は、この提案に基づき、実施に向けて準備作業を行ってまいります。参加者に、生の沖縄に触れてもらうために、離島体験やホームステイを行うことも検討中です。参加者にとって充実した取組みとなり、また、全国に先駆けての画期的な取組みとしたいと考えておりますので、ご期待下さい。

「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」委員

有馬朗人	元東京大学総長
池上清子	国連人口基金東京事務所長
稲嶺恵一	前沖縄県知事
座長 黒川清	内閣特別顧問
渋谷英章	東京学芸大学教育学部教授
モンテ・カセム	立命館アジア太平洋大学学長

敬称略、50音順



委員の方々